



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日
東

上場会社名 メック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4971 URL <https://www.mec-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室 (氏名) 坂本 佳宏 (TEL) 06-6401-8160
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 2020年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,701	14.6	1,133	85.8	1,126	76.4	794	73.8
2019年12月期第2四半期	4,976	△9.5	610	△41.3	638	△38.7	457	△48.6

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 721百万円(117.8%) 2019年12月期第2四半期 331百万円(△45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	41.85	—
2019年12月期第2四半期	24.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	19,980	16,545	82.8
2019年12月期	19,991	16,091	80.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 16,545百万円 2019年12月期 16,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2020年12月期	—	12.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,100	2.2	2,000	22.2	2,000	16.1	1,400	13.2	73.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 2 Q	20,071,093株	2019年12月期	20,071,093株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期 2 Q	1,093,341株	2019年12月期	1,093,311株
---------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期 2 Q	18,977,761株	2019年12月期 2 Q	18,973,107株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・当社は、2020年8月11日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)における世界経済は、緩やかな回復基調で始まったものの、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により急速に減速し、厳しい状況にありました。わが国経済も、輸出が弱含むなか、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いていたものの、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復の基調に始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により急速に悪化し極めて厳しい状況にありました。先行きについても、世界経済の不確実性、地政学的緊張に加え、感染症の実体経済への影響等、内外経済に十分留意する必要があります。

エレクトロニクス業界は、世界各国での外出自粛による在宅勤務や自宅学習の増加、それに伴うデータ通信量急増を背景に、サーバーやパソコン、タブレット端末に強い需要がありました。一方、スマートフォンや電装化が進む自動車は世界的に販売は不振でした。

当社グループの関係市場である電子基板・部品業界は、エレクトロニクス業界の影響を受け、第1四半期の傾向が続き、スマートフォンや自動車向けは弱かったものの、サーバーやパソコン、タブレット端末向けの需要は堅調に推移いたしました。

電子基板は、高密度化や技術革新が進んでおります。IoT関連市場は引き続き高い成長が見込まれ、第4世代(4G)から高速大容量の第5世代(5G)への切り替えに注目が集まる移動通信システムは商用化に向け取り組みが更に活発化しており、特に次世代データセンターに係る高性能パッケージ基板向けの生産体制強化に向けた設備投資も進展しております。

このような環境のもと、当社グループは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力いたしました。ディスプレイ向け「SFシリーズ」の販売は関連するタブレット端末の強い需要により好調に推移し、半導体を搭載するパッケージ基板向けに高いシェアを持つ超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」もデータセンター向けサーバーやパソコンの需要の強さから好調な結果となりました。一方、薄型テレビを中心とするディスプレイ向けに高いシェアを獲得し、スマートフォン向けにも広がっているエッチング法で高密度配線形成を実現する「EXEシリーズ」はほぼ横ばいに、多層電子基板向け密着向上剤「V-Bondシリーズ」は、関連する自動車市場の弱さを受け低調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は57億1百万円(前年同期比7億24百万円、14.6%増)となりました。販管費及び一般管理費は24億2百万円(前年同期比17百万円、0.7%減)となり、営業利益は11億33百万円(前年同期比5億23百万円、85.8%増)、売上高営業利益率は19.9%となり、前年同期の12.3%と比較し7.6ポイント改善しました。経常利益は11億26百万円(前年同期比4億88百万円、76.4%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は10億75百万円(前年同期比4億26百万円、65.7%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億94百万円(前年同期比3億37百万円、73.8%増)となりました。

売上高の内訳は、薬品売上高は54億91百万円(前年同期比6億1百万円、12.3%増)、機械売上高は1億73百万円(前年同期比1億24百万円、257.1%増)、資材売上高は34百万円(前年同期比4百万円、14.1%増)、その他売上高は2百万円(前年同期比5百万円、74.2%減)となりました。

海外売上高比率は51.4%となり、前年同期に比べ3.5ポイント減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

日本では、外出自粛による需要の影響を受け、パソコンやタブレット端末が比較的好調で関連する製品が好調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は28億71百万円(前年同期比5億62百万円、24.3%増)、セグメント利益は8億2百万円(前年同期比5億48百万円、216.1%増)となりました。

台湾では、サーバーや基地局向けパッケージ基板が好調に推移し関連する製品の売上は増加したものの、一部製品の切替により一時的に利益は減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は11億49百万円(前年同期比1億28百万円、12.6%増)、セグメント利益は1億28百万円(前年同期比53百万円、29.4%減)となりました。

香港(香港、珠海)では、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に需要が落ち込みましたが、その後の反動で結果的に売上は回復し、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億78百万円(前年同期比21百万円、4.6%増)、セグメント利益は1億5百万円(前年同期比39百万円、60.3%増)となりました。

中国(蘇州)では、タブレット端末が比較的好調で関連する製品が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上

高は9億11百万円(前年同期比39百万円、4.6%増)、セグメント利益は1億30百万円(前年同期比85百万円、189.0%増)となりました。

欧州では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に車載基板の減少により関連する製品が低調で、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億74百万円(前年同期比43百万円、13.7%減)、セグメント利益は42百万円(前年同期比9百万円、17.8%減)となりました。

タイは、今後拡大する東南アジア市場を深耕するために2017年5月29日に当社6社目の子会社を設立し、2019年9月から稼働いたしましたが、売上への貢献は少なく、当第2四半期連結累計期間の売上高は16百万円、セグメント損失は77百万円(前年同期は37百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、受取手形及び売掛金の増加があったものの、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度に比べて11百万円減少し、199億80百万円となりました。

負債は、未払法人税等の増加、借入金の減少等により、前連結会計年度に比べて4億64百万円減少し、34億34百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度に比べて4億53百万円増加し、165億45百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は82.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日(2020年8月11日)公表の「2020年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、2020年12月期通期連結業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

本資料に掲載されております予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、当期見通しの前提となる為替相場は、下記のとおりです。

前連結会計年度および当期見通し為替レート

	2019年12月期 (円)	2020年12月期 (円)
US\$	109.37	108.41
NT\$	3.54	3.61
RMB¥	15.85	15.37
HK\$	13.96	13.96
€	122.53	119.82
THB	3.52	3.44

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,957,484	4,874,930
受取手形及び売掛金	3,128,711	3,213,221
電子記録債権	262,127	214,986
商品及び製品	420,647	376,511
仕掛品	132,689	144,381
原材料及び貯蔵品	391,591	390,750
その他	149,125	167,297
貸倒引当金	△3,845	△3,780
流動資産合計	9,438,532	9,378,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,939,730	7,103,484
減価償却累計額	△2,571,047	△2,667,260
建物及び構築物(純額)	4,368,683	4,436,223
機械装置及び運搬具	2,734,071	2,897,207
減価償却累計額	△1,847,339	△1,971,102
機械装置及び運搬具(純額)	886,732	926,105
工具、器具及び備品	1,254,504	1,263,891
減価償却累計額	△871,792	△910,684
工具、器具及び備品(純額)	382,711	353,207
土地	2,933,082	2,931,734
使用権資産	79,786	64,588
減価償却累計額	△35,075	△20,318
使用権資産(純額)	44,710	44,270
建設仮勘定	381,422	262,678
有形固定資産合計	8,997,342	8,954,219
無形固定資産	139,574	143,301
投資その他の資産		
投資有価証券	580,704	632,995
退職給付に係る資産	690,913	701,561
繰延税金資産	47,426	43,200
その他	97,344	126,650
投資その他の資産合計	1,416,389	1,504,406
固定資産合計	10,553,306	10,601,926
資産合計	19,991,839	19,980,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,166,724	1,154,275
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	250,000	—
未払金	372,262	270,629
未払費用	135,894	133,382
未払法人税等	122,431	269,642
賞与引当金	313,740	238,305
役員賞与引当金	30,470	15,456
設備関係未払金	62,075	25,650
その他	657,582	530,296
流動負債合計	3,511,180	3,037,638
固定負債		
繰延税金負債	236,967	237,061
退職給付に係る負債	43,271	43,440
株式報酬引当金	71,972	75,837
その他	36,447	40,880
固定負債合計	388,659	397,219
負債合計	3,899,840	3,434,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	541,273	541,273
利益剰余金	15,486,355	16,012,179
自己株式	△1,175,796	△1,175,844
株主資本合計	15,445,974	15,971,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,948	219,338
為替換算調整勘定	304,802	214,998
退職給付に係る調整累計額	155,273	139,280
その他の包括利益累計額合計	646,024	573,617
純資産合計	16,091,998	16,545,368
負債純資産合計	19,991,839	19,980,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,976,680	5,701,401
売上原価	1,946,275	2,165,107
売上総利益	3,030,405	3,536,294
販売費及び一般管理費	2,420,189	2,402,524
営業利益	610,215	1,133,770
営業外収益		
受取利息	7,713	11,637
受取配当金	4,543	3,663
試作品等売却収入	16,414	6,568
受取保険金	31,735	—
その他	9,835	13,003
営業外収益合計	70,242	34,872
営業外費用		
支払利息	1,587	873
売上割引	2,245	1,780
為替差損	37,021	39,042
その他	998	255
営業外費用合計	41,851	41,951
経常利益	638,605	1,126,691
特別利益		
固定資産売却益	2,100	1,026
補助金収入	8,804	—
特別利益合計	10,904	1,026
特別損失		
固定資産除却損	677	52,464
特別損失合計	677	52,464
税金等調整前四半期純利益	648,833	1,075,252
法人税等	191,706	280,971
四半期純利益	457,126	794,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,126	794,280

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	457,126	794,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,287	33,389
為替換算調整勘定	△150,000	△89,804
退職給付に係る調整額	△8,003	△15,993
その他の包括利益合計	△125,716	△72,407
四半期包括利益	331,410	721,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	331,410	721,873
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。